9/30(月) **『強い国の滅亡』**

聖書箇所　イザヤ書１７章

上の聖書には何がかかれているかな

神の民イスラエルは、昔から多くの強い国に囲まれてきました。自分たちが恐れる強い国を滅ぼした別の国を頼り、安心するということを繰り返してきたのです。やがては滅びていく強い国に頼り、本当に頼らなければならない神さまを忘れていたのです。☆☆☆お祈り☆☆☆

私たちを愛し本当に導いてくださる

神さまに心から信頼します。アーメン

10/1(火) イザヤ書18：7 偉大な神

10/2(水) 「神のもとにある」

旧約聖書　イザヤ　19：18～22

旧約聖書の時代、エジプトはとても大きくて力ある国でした。

エジプトでどれいとして苦しんだイスラエルの民が出エジプトをしたこともあるね！

今はまことの神さまを知らないで、自分に強い国のほうがすごいとおごりたかぶっている国でも神のもとにある国、なんだって

やってみよう！　16～25せつのなかで「その日」ということばは何回でてくる？

そのようにして主はエジプト人にご自分を示し、その日、エジプト人は主を知る。　21せつ

神さまは今神をしらず自分かってにしている人のことも忍耐して、その日主を知る方にしてくださる神さまはいだいな方です。全世界の主です。主がみちびいてくださいね。

いのり：そうに

10月3日(木) イザヤ書20：2,4,5

『今、なににたよっている??』

主は、イザヤに、はだかになって、はだしで歩くように言われました。

これは、アッシリアがエジプトやクシュなどの国々を支配して、民たちが手に入れられるようおを人々に示すためでした。だから、エジプトなどの他の国々や神々を頼りにするのではなく、**主をより頼み、求めるように!!!**と神さまは伝えます。

考えよう!!!
今、自分が頼っている、神さま以外のもの、ってなんだろう??

おいのり

10/4(金) バビロンへのきびしいまぼろし

イザヤ書　21：1～3

「海のあら野」は、バビロンのことだよ。

このじだい、イスラエルはアッシリアのこうげきのまとになっていた。のちにアッシリアをほろぼして ちからをもつバビロンもまた、とうぜんエラム(ペルシャ)とメディヤにほろぼされる。このことがおこるやく200ねんまえに、イザヤはこのことばをったえたんだ。

ほうびはある。でもかみさまはすべての人をいのちにまねいてくださっている。このきびしいまぼろしを見たイザヤの心はみだされたけど(3せつ)、まっすぐにかみさまのことばをったえてくれたんだ。

おいのり　かみさまのことばをまっすぐにったえることができるようにたすけてください

10/5(土) おろかなこと

おいのり　イザヤ 22：12－14

神さまはいった
つみに悲しんで
粗布をまとえ

しかし民は…
うかれ　たのしみ
えんかいをしていた

神さまの心とはなれているおろかな民に

神さまは

おまえたちの罪は死ぬまでゆるされない

といわれた

神さまは　わたしたちが罪をおかしくいあらためないときに、はげしく心をいためるんだね…♡♡

おいのり

わたしのために心をいため、まっていてくださるイエスさまのあいにとびこみます♪　アーメン♡

10/6 にちようび　ツロは…

おいのり　イザヤ 23：1

外国のツロは、栄えていた

でも神様はツロはほろびるって言ったよ

神様からたくさん祝福をもらっている
わたしたちは、どうしたらいいかな?!